

## 取り組みの方向性と具体的事業のアイデアの検討

### 1. 検討目標

#### (1) 取り組みの方向性と具体的事業のアイデアの抽出（グループ討議）

- ・中間報告で取りまとめた課題と将来像を踏まえ、将来像のそれぞれに沿って、今後行うべきと考える、具体的事業のアイデアを整理します。
- ・また、可能であれば、アイデアを束ねた取り組みの方向性についても検討します。

#### (2) 取り組みの方向性と具体的事業のアイデアの検討（全体討議）

- ・(1) のグループ討議結果を分科会全体で議論します。
- ・また、可能な範囲で、将来イメージを実現するために求められる取り組みの方向性について検討します。

### 2. 進め方

#### (1) 具体的事業のアイデアの抽出（グループ討議）

##### ①討議の内容

- ・事前に考えてきた分野「家庭教育」「学校教育」「家庭・学校・地域社会の連携」「生涯学習」等に分かれて、話しやすい少人数（3人程度）で、将来像の実現に向けた具体的事業のアイデアを検討していくことにします。
- ・アイデアシートには、「だれが」「何を」「どのように、どこで、いつ」やるのかを具体的にご記入下さい。
- ・アイデアシートをもとに話し合い、同じようなものがあれば統合して、新たなアイデアシートを完成させてください。

将来像の分野		第5回中間報告の将来像ではなく、「家庭教育」「学校教育」「家庭・学校・地域社会の連携」「生涯学習」など、将来像を思い描く分野名をご記入ください。
アイデア名称		アイデアの内容を端的に表現できるよう名前を付けてください。これが事業名になります。
アイデアの内容	だれがやる	アイデアをだれが実施するのか（行政がやること、家庭や区民、事業者や地域社会がやること）を記入してください。
	何をやる （何を、どこで、どのようにやる）	アイデアの目的や対象者、内容などをご記入ください。

## ②討議の方法

- ・これまでと同様に、小グループ内でグループ討議の進行役を決めて頂き、司会の方を中心にグループ全員でどんなアイデアをもっているかの共有から始めて、討議してください。
- ・討議の結果は、最終報告に向けた事業のアイデアの表に文章化し、まとめます。(事前配布の資料の4ページ参照) そのため、アイデアの内容等については、アイデアシートかポストイットに、必ず記録を残してください。
- ・討議内容に関連して、区の現状や区が実施している取組などについて知りたいことがある場合は、会場にいる職員に遠慮なくご質問ください。

## (2) 取り組みの方向性と具体的事業のアイデアの検討(全体討議)

- ・具体的事業のアイデアについて、各グループから発表し、全員で意見交換をして最終報告に盛り込むべき具体的事業のアイデアを検討します。

以上